

伊香具小学校からの報告

活動団体名： 伊香具小学校3・4年生

活動人数： 15人（教員2名）

取組時間：総合的な学習の時間

調査内容 1回目：6月3日（金）大音用水路 晴れ 2回目：6月13日（月）大音用水路 晴れ

伊香具小学校では、毎年、3・4年生がこの水生生物少年少女調査隊に入隊し、大音の町の中を流れる川を中心に調査活動を行っています。網やざるを使い魚や水生生物を見つけて仲間分けをしたり、水質を調べたりしました。湖北野鳥センターの所員さんに講師として来ていただいて、調査の仕方や詳しい生き物の仲間分けの仕方をアドバイスしていただきました。

今まで気づかなかったたくさんの小さな生き物を採集できました。ナゴヤダルマガエルやカマツカといった希少種も捕れた。今まで気づかなかった生き物の発見と、生き物から川の水のきれいさが分かり、調査のおもしろさを感じていました。2回目の調査は、1回目とは場所を変えて、前回調査した川よりさらに南の川を調査しました。

調査の基本となる水温と気温、川幅と水深、流れの速さを確認し、小さな生き物を見逃さないよう、進んで生き物を探していました。前回より川の水位が低く、魚は少なかったですが、生き物探しに熱中し、多様な水生生物を採集した。グループ内で役割分担をし、声をかけ合っ



て調査、分類をすることができました。

調査員の感想

川の生き物を見ることができてうれしかった。わたしが知らない名前の魚がいた。水生生物のとり方が分かった。魚や水生生物のとり方を初めて知って楽しく水生生物調査ができた。水生生物をとるのは、楽しかった。前と同じ生き物もいたけど、ちがうものもいた。水は、よごれた水だった。水草は、いろいろなしゅるいがあることに気がついた。みんなで協力して調査ができた。

捕まえた生き物たち

【1回目の調査】

カゲロウ類、シジミ、カワニナ、ヒル類、ミズムシ、イトミミズ類、ドジョウ、ドンコ、カワムツ、タナゴ、カマツカ、オイカワ、ナゴヤダルマガエル

【2回目の調査】

ガガンボ類、シジミ、カワニナ、ミズムシ、サカマキガイ、ハナアブ、ドジョウ、カワムツ、ヌマムツ、オオカナダモ、コカナダモ、ヤナギモ

調査のまとめ

1回目の調査分類では、カワニナなどのきれいな水にいる生き物と、イトミミズなどのよごれた水にいる生き物が混じっていました。2回目の調査分類では、きれいな水にいる生きものはガガンボの幼虫とカワニナだけで、サカマキガイなど少し汚れた水にいる生き物が多かったです。COD値を測定すると、水質が「とても汚れている」という結果になりました。すぐ近くの川でも川の水質が違うことが分かりました。

これまでの調査から分かったこと

- 年によって違う種類の生物が見つかりました。
- 場所を変えて調査すると、違う種類の生物が見つかりました。
- 水質は、「少し汚れている」という結果で、ここ数年間あまり変わっていません。
- きれいな水にすむ生き物と、汚れた水にすむ生き物の両方が見られました。



活動の様子



【COD 調査】



【水生生物採集の仕方】



【水生生物採取】



【分類】



【水生生物探し】



【水生生物】



【魚の観察】



【絶滅危惧種ナゴヤダルマガエル】

